

第6章 健康課題と目標設定

6. 1. 新座市国民健康保険の健康課題

6. 1. 1. 分析結果からみえる問題点と健康課題

医療費及び特定健診等データ分析の結果に基づく健康課題について、下記の通り整理しました。より詳細な現状分析は巻末資料「KDB等の分析に基づく新座市の生活習慣病対策のための現状分析と課題設定」に掲載します。

【医療費】

問題点と課題	該当ページ
総医療費は被保険者数の減少に伴い減少傾向にあるものの、一人当たり医療費は被保険者の高齢化や医療の高度化などの影響により増加傾向にある。 ⇒医療費抑制のための対策が必要	p. 24、25
疾病別医療費では、「循環器系の疾患（例：高血圧症）」、「新生物（がん）」、「内分泌、栄養及び代謝疾患（例：糖尿病、脂質異常症）」、「腎尿路生殖器系の疾患（例：慢性腎不全）」のいわゆる生活習慣病の疾患で49.4%を占めている。 ⇒生活習慣病への対策が必要	p. 26
疾病大分類別では「循環器系の疾患」が、生活習慣病では「高血圧性疾患」が、医療費も患者数も多くなっている。 ⇒高血圧性疾患への対策が必要	p. 27、28
生活習慣病及び重症化疾患の入院・入院外の標準化医療費をみると、男女ともに入院医療費は県より高めだが、入院外医療費は県より低いと同程度となっている。 ⇒重症化する前に適切に医療につながるよう対策が必要	p. 29、30
生活習慣病医療費では、高血圧性疾患及び糖尿病の医療費が総医療費も一人当たり医療費も高くなっている。 ⇒高血圧性疾患及び糖尿病への対策が必要	p. 32、35

【特定健診・特定保健指導】

問題点と課題	該当ページ
特定健診の結果、男女ともに収縮期血圧及び拡張期血圧が基準値以上の者の割合が全国と比較して高い。 ⇒高血圧症への対策が必要	p. 55、56
質問票で「喫煙習慣がある」と回答した者の割合が全国と比較して多い。 ⇒禁煙への対策が必要	p. 57、58
質問票で、「毎日飲酒」「時々飲酒」の割合が高く、「飲酒しない」の割合が低い ため、飲酒習慣がある者が多いことが伺える。 ⇒飲酒習慣への対策が必要	p. 57、58
特定健診未受診で、さらに生活習慣病のレセプトがない者（健康状態未把握者）が約30%を占めている。 ⇒健康状態未把握者を減少させるため、より一層受診率向上対策が必要	p. 59、60

6. 1. 2. 第3期計画の目標

前頁で確認された健康課題に基づき、「保健事業実施計画（データヘルス計画）」を定めます。令和6年度から令和11年度までの計画期間中、PDC Aサイクルに沿って効果的かつ効率的な保健事業を実施します。

【計画全体における目的】

健康・医療・介護の情報を活用し、PDC Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を展開し、被保険者の健康増進を図ることで健康寿命の延伸及び医療費適正化を目指す。

★ すべての都道府県で設定する指標

☆ 地域の実情に応じて都道府県が設定する指標（埼玉県版）

1. 目的：健康寿命の延伸

目標：健康寿命を延伸させる

指標	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
65歳健康寿命	男性17.96年 女性21.04年	延伸	延伸	延伸	延伸	延伸	延伸
関連する個別事業	・全個別保健事業						

2. 目的：特定健康診査受診率を向上させ、生活習慣病の早期発見を促す

目標：特定健診受診率を60%にする

指標	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査受診率★	42.1% (R4)	47%	50%	52%	55%	57%	60%
関連する個別事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査（人間ドック検診含む） ・総合健診（結果説明会含む） ・特定健診未受診者受診勧奨事業 						

3. 目的：特定保健指導の終了率を向上させ、生活習慣の改善を促す

目標①：特定保健指導終了率を60%にする

指標	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定保健指導終了率★	23.0% (R4)	30%	36%	42%	48%	54%	60%

目標②：特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率を増やす

指標	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定保健指導による 特定保健指導対象者の減少率★☆	20.8% (R4)	増加	増加	増加	増加	増加	増加

関連する個別事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導 ・ 特定保健指導利用率向上対策事業
----------	---

4. 目的：血圧コントロール良好者を増やす

目標①：保健指導判定値以上の者の割合を減らす

指標	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
保健指導判定値以上の者の割合☆	57.9% (R4)	減少	減少	減少	減少	減少	53%

目標②：特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率を増やす

指標	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定保健指導による 特定保健指導対象者の減少率★☆	20.8% (R4)	増加	増加	増加	増加	増加	増加
関連する個別事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要治療者受診勧奨事業 ・ 特定保健指導利用率向上対策事業 						

5. 目的：糖尿病の適正受診、重症化予防を促す

目標①：血糖コントロール不良者の割合を減少させる

指標	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
HbA1c8.0%以上の者の割合★	1.2% (R4)	減少	減少	減少	減少	減少	減少

目標②：糖尿病の治療者や治療中断者を減らす

指標	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
HbA1c6.5%以上かつ 糖尿病レセプトなしの者の割合☆	14.8% (R4)	減少	減少	減少	減少	減少	減少

目標③：高血糖の割合を減らす

指標	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
HbA1c6.5%以上の者の割合☆	9.5% (R4)	減少	減少	減少	減少	減少	減少
関連する個別事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病性腎症重症化予防対策事業 ・ 要治療者受診勧奨事業 						